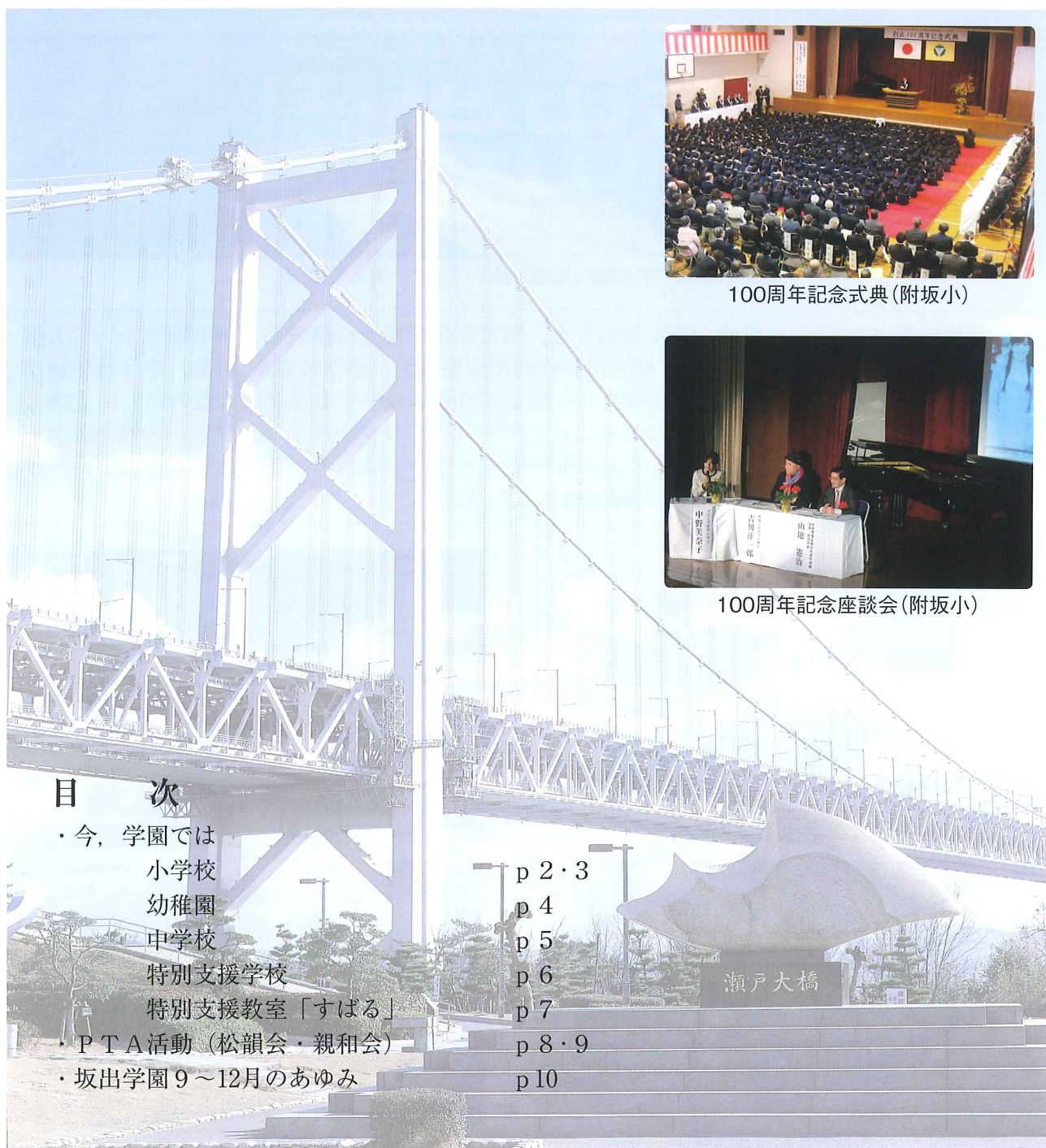


香川大学教育学部

# 附属坂出学園だより

第43号

2012.12



100周年記念式典(附坂小)



100周年記念座談会(附坂小)

## 目次

- ・今、学園では
  - 小学校 p 2・3
  - 幼稚園 p 4
  - 中学校 p 5
  - 特別支援学校 p 6
  - 特別支援教室「すばる」 p 7
- ・PTA活動(松韻会・親和会) p 8・9
- ・坂出学園9～12月のあゆみ p 10



100周年記念事業 第47回さかいで大橋まつり総踊り参加 (2012. 8. 4)



386名参加の巨大連の先頭を飾る横幕と一緒に笑顔で

小学校の創立100周年を学園全体で祝おうと、附属坂出学園連を結成し、第47回さかいで大橋まつり総踊りに参加を致しました。踊り当日は幼稚園児47名、小学校児童181名、中学校生徒10名、教員21名、保護者127名の合計386名からなる参加団体の中で1番構成人数の多い巨大連となりました。また、100周年記念のロゴを入れたブルーのオリジナルTシャツに、5月のスクールデコレーションで使用した赤いリボンの布を使って男の子はハチマキ、そして女の子はリボンで統一された参加者が一体となって踊る様子は圧巻でした。



Tシャツデザイン案。手探りのスタートでした。



巨大リボンを使ってのハチマキ・リボン制作



本番直前の練習の様子



いよいよ坂出駅前へ移動開始





会場到着。隊列を確認します。



飲み物も準備完了！



いよいよスタートです！



最初は恥ずかしそう・・・



約100mの長い行列(のぼりも目立ってます)



だんだん形になってきました



いよいよクライマックス！



終了！みんなでバンザ～イ！

創立100周年記念として初めての「さかいで大橋まつり総踊り」参加と言う事で準備も大変でしたが、先生方をはじめ多くの保護者の皆様のご協力をいただいたおかげで、子どもたち、先生方、保護者にとって思い出に残る記念事業になったのではないかと思います。また何より386名もの方にご参加いただいた事に心から感謝します。この事業を通じて私自身も、神余会長が常々話しておられる「保護者同士の絆」を強く感じる事ができました。本当にありがとうございました。

100周年実行委員会 さかいで大橋まつり総踊り担当 滝上 啓介



# プチ秋の集い

10月31日、プチ秋の集いを行いました。プチ秋の集いでは、園生活で楽しんで製作した作品をお家の方にも見ていただけたらと、保育室にいろいろな作品を展示しました。

## バスの絵 ～3歳児黄組～

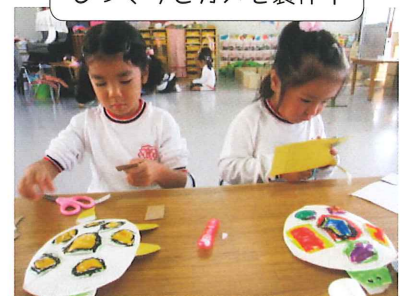
初めて幼稚園のみんなでバスに乗って遠足に行ったという嬉しい経験を、さらに深められたらとバスの絵を描くことにしました。「遠足で乗ったバスはどんなバスだった?」と聞くと、子どもたちは「大型バス!」「四角かった!」「窓やドアがあった!」とバスのイメージをどんどん膨らませながら答えてくれました。そのイメージの中でクレヨンで画用紙いっぱい大きなバスを描き、そこに絵の具で色をつけることも楽しみました。いろいろな色を塗ることを試してみる人、紙の上で絵の具が混ざると色に変化することに気づいて喜ぶ人、自分なりのイメージをもって丁寧に塗っていく人、どの人も嬉しい気持ちで取り組みました。「プチ秋の集い」当日、「見て!きれいでしょ?」と嬉しそうにお家の人に自分のバスを紹介する姿があちらこちらで見られました。



えのぐってきれいだね!

## 赤組水族館 ～4歳児赤組～

バス遠足で行った水族館で、いろいろな海の生き物を見た経験から、赤組では「赤組水族館」を作ることになりました。みんなで水族館で見た海の生き物を思い出しながら、作りたい生き物を1人1つ決めました。材料は、遊びの中でも使ったことがある新聞紙や牛乳パック、スズランテープやお花紙などの身近な素材です。実際に見たり触れたりしたからこそ、それぞれに作りたい思いや具体的な生き物のイメージがわいたようで、そのイメージを実現させようと真剣に素材に向き合っていました。また、友達の作っている別の生き物にも関心を寄せて、さらに新しい生き物を作ろうと挑戦する姿も見られました。そして、30匹の生き物が集まって、壁一面に「赤組水族館」ができ上がると、心惹かれて思わず見とれている子どもたちの姿がありました。



じつくりとカメを製作中

## ハロウィンパーティーへようこそ ～5歳児青組～

プチ秋の集いはちょうどハロウィン当日でした。そこで、青組はハロウィンパーティーを開き、赤組や黄組、お家の人を招待しました。子どもたちは、かぼちゃのおばけやドラキュラをイメージしたカラーポリ袋の衣装とカラフルな仮面を身につけてとてもはりきっていました。赤組や黄組の子どもたちにお菓子をプレゼントする時は「トリックオアトリートって言ってね。お菓子をあげるよ」と小さな人に優しい気持ちでかかわる姿がありました。また、さつまいもで茶巾しぼりを作り、そこにチョコレートやおかきで目や口をつけ、かぼちゃのおばけに見立てたおいしいおやつも作りました。とってまわりの手作りおやつでお家の人をおもてなし一緒にいただく時間は、とても和やかで楽しい時間になりました。幼稚園で一番大きな人として、おもてなしの気持ちを感じながらパーティーをすることを楽しんだ子どもたちです。



丁寧に、丁寧に...

おかしをどうぞ!



## 第2回 あじさいフェスティバル(文化祭)が開催されました！

去る11月18日に、**あたらしい(あいのある)じゅうときりつのさわやかないばしょ**フェスティバル，附属坂出中学校の文化の祭典が行われました。午前中には**総合学習CAN発表会・シャトル学習成果発表会**，午後からは**文化部発表・各学年団発表**が行われました。

### 【最優秀研究 青雲賞】

#### 「地産地消!!スイーツクラブ」

3年 矢野里さん・2年 和田真さん・1年 猪熊さん

香川産の食材を使ったお菓子の商品化に取り組みました。何度も試作を重ね、「名物かまど」とのコラボによる3種類の菓子を開発し，文化祭でも販売しました。

その研究物語は，読売新聞（11月9日付）等の記事で取り上げられました。



### 【優秀研究 CAN賞】

#### 「EM菌と仲良くなって野菜不足解消倶楽部」

3年 氏家萌さん・2年 須崎さん・1年 宮武さん

#### 「おばあちゃんの知恵疑問研究所～簡単な掃除法を開発～」

3年 松川さん・2年 和田悠さん・1年 永濱さん

#### 「太陽電池で一石二鳥！夢の発電システム」

3年 永濱くん・2年 米崎くん・1年 長尾幸くん

#### 「身の回りに隠された音の研究」

3年 玉岡里さん・2年 片山さん・1年 平野さん

### 【シャトル学習特設講座 部門賞】

#### 課題設定力賞 「アリジゴクを商品化！」

3年 四元くん・2年 山内くん・1年 松浦くん

#### 課題追究力賞 「立体視をして本当に視力は上がるのか？」

3年 吉田くん・2年 山下くん・1年 梶くん

#### 表現力賞 「チューニング隊☆」

3年 角野さん・2年 有木さん・1年 加藤さん

#### チームマネジメント賞 「運動能力の向上によってスポーツは上手くなるのか？」

3年 三崎くん・2年 林くん・1年 横田くん

他にも楽器の構造を研究し，竹で笛を創った「世界で一つだけの笛を創ろう」，うどん県かがわに続く新ネーミングに挑戦した「中讃地域に名前をつけよう」など，12クラスターの研究に研究奨励賞が贈られました。



### シャトル学習成果発表



「Jazz of apple」 他

### 各学年団発表



「3年団合唱」 他

### 文化部発表



華道部 他



## 現場実習 社会で試す働く力

高等部では、教科の学習や校外学習、作業学習、現場実習などを通して、生活する力や働く力を培い、社会自立をめざして日々生徒たちが学習に取り組んでいます。高等部に入学すると、職業科や作業学習などの働くための学習の時間が多くなります。

### 職業科

自己理解に始まり、働くことの意義や社会人としての心得、卒業後の生活など働くために必要な学習をします。

### 作業学習

窯業、家政、農耕、軽作業の4つの班に分かれて、週10時間程度の作業を経験します。ここでは、働くことに体を慣れさせるだけでなく、礼儀や態度、作業をするための体力などを養います。

この職業科や作業学習が第一段階となり、次の段階である「現場実習」へとステップアップしていきます。

### 現場実習

日頃の学習で身に付けた「働く力」を「社会」で試します。卒業までに5回以上学年ごとの目的をもって行われます。

#### 【現場実習の期間】

	前期現場実習	中期現場実習	後期現場実習
1年		8日間(11月)	
2年	2週間(6～7月)	2週間(10月)	
3年	2週間(6～7月)	4週間(10～11月)	随時

### 1年 働くことの楽しさを知る実習

### 2年 自分の力を知る実習

指導者と一緒に体験的な実習を行います。製造業からサービス業までの一般事業所（企業）や福祉事業所（通所施設）などの様々な業種を体験することで、自分に合った業種や進路先を探っていきます。

高等部卒業後の進路はおおむね「一般就労」と「福祉就労」の二つに分かれるため、2年生の実習終了後に進路の方向を決めて3年生での実習につなげます。



福祉事業所での食品の仕分け作業



食品会社での箱折り作業

### 3年 進路を決める実習

自宅から自分で通う実習を行います。福祉就労をする生徒は、1～3か所の施設等を体験して自分に合った事業所を探したり、希望する事業所での生活リズムに慣れたりするための実習となります。

一方、一般就労（就職）をめざす生徒には事実上の就職試験となり、採用の可否に関わる実習になります。



自動車販売店での洗車作業



運送会社でのコンテナ運搬作業

平成25年度から障害者法定雇用率が1.8%から2%に引き上げられますが、卒業後の進路決定は容易ではありません。卒業後の豊かな社会生活のために、就労をめざして取り組んでいきたいと思ひます。



## 特別支援教室「すばる」の歴史と現在

平成15年度に開設された特別支援教室「すばる」は、香川大学教育学部の附属研究機関として位置づけられています。

香川大学附属坂出学園では、平成12年度からの3年間、文部科学省より、「異校種間の教員の協力指導を通して、幼稚園・小学校・中学校の一貫教育を目指した『生きる力』を培う教育課程・指導方法の研究開発」のテーマのもと、研究開発学校の指定を受け、研究の柱の1つとして「学習不振・学習困難児・学習障害児の指導方法の開発」に取り組みました。その結果、通常の学級内での指導法について提案し成果をあげることができましたが、その一方でLD、ADHD等と診断を受ける児童生徒の指導は、通常学級の一斉指導では限界があることが示されました。そのため、通常学級での集団生活・学習活動につながる個別指導の開発は、急務であり必要性が高いことが分かりました。

その後、文部科学省調査研究協力者会議より出された『今後の特別支援教育の在り方について(中間報告)』の中の「特別支援教室」の構想を参考に、附属学園内・香川大学内、県教育委員会において検討を重ねました。その結果、平成15年4月より香川大学特別支援教室「すばる」が開設され、“幼児・小学生・中学生の通常学級に在籍しているLD、ADHD、高機能自閉症、アスペルガー症候群と診断を受けた子ども、及びその疑いのある子ども”に対し、個別的な指導を週1回1時間程度、年間を通じて小・中学校の放課後の時間帯に実施してきました(現在は学習指導事業として指導期間を年間で3期に分け、1人につき週1回1時間の個別指導を計10回程度実施しています)。開設から現在に至るまでの約10年間、特別支援教室「すばる」では、通級教室としてのよりよい形態を模索しながら個別学習指導事業に取り組んでいます。

また、香川大学教育学部は、平成20年度に現職経験者を対象とする1年制の大学院「教育学研究科特別支援教育コーディネーター専修」を設置しました。特別支援教室「すばる」では、研修事業の一環として専修生を受け入れ、特別な支援を必要とする子どもの指導について、個別指導の経験を通じて実践的に学べる場を提供しています。現在、香川県の特別支援教育の充実と発展に寄与するべく、香川大学教育学部特別支援教育講座と協力・連携しながら、地域で活躍する特別支援教育コーディネーターの育成に力を注いでいるところです。

このような特別支援教室「すばる」の活動は、全国的にも注目されており、毎年各地域の専門機関関係者や現職教員の方々から多くの訪問依頼を受けています。開設以来、150名以上の方々が見学に来られました。今年度(10月末現在)は、東京都江戸川区本一色小学校より2名、高知大学附属特別支援学校より12名、四国中央市川之江・新宮地域特別支援教育部会より26名の方々が見学に来られました。来室いただいた方には、研修室または相談室にて特別支援教室「すばる」の概要の説明、質疑応答、施設内の案内等を実施しています。概要説明では、特別支援教室「すばる」設立のねらいや経緯、事業内容、申込みから個別指導までの流れ等について説明しています。また、質疑応答では訪問される方々のニーズに応じて、具体的なアセスメント方法や、個別指導での実践事例などをいくつか紹介しています。

今後もより多くの方々に来室いただき、特別支援教室「すばる」の取り組みを知っていただくとともに、特別支援教育における専門的な教育実践を全国に発信できるよう、日々の実践・研究活動を進めていきたいと考えています。





## 松韻会だより

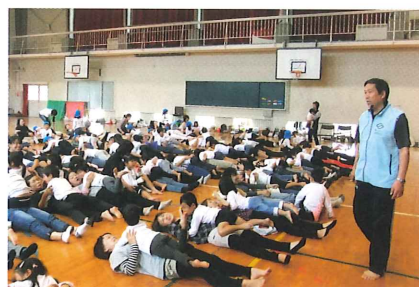
10月18日、松韻会の前会長の多田羅尚登さんが、突然の病気のためお亡くなりになりました。つい2年前まで、5年間という長期にわたり会長の任を背負い、在任中には私たち松韻会員のために、並々ならぬご尽力をいただきました。多田羅さんのこれまでの松韻会活動に対して、深く敬意を表すると共に、心から感謝の意を捧げます。謹んでご冥福をお祈りいたします。



## 幼稚園より

## ウキウキわくわく親子体操

10月19日に開催したウエンディの会は、香川大学教育学部長 山神眞一先生をお迎えして親子体操を行いました。今回は幼稚園の耐震工事のため小学校の体育館での活動でした。山神先生の楽しいトークと素敵な動きに子どもも親も惹きつけられ、あっという間の40分でした。親子体操では、子どもを抱っこしたりおんぶしたりとしっかり触れ合うことができました。また、身近にあるタオルや風船を使っての遊びを教えていただき、普段すぐに活用できるもので、こんなに楽しく体を動かす遊びができるんだ、と目からウロコでした。子どものキラキラ輝く姿を目の当たりにして、あらためて親子で触れ合うこと、親子で楽しむことの大切さを再確認することができました。



## お兄さん、お姉さんたちと一緒に

幼稚園では現在、園舎の耐震工事の為、小学校の校庭をお借りして仮設園舎で過ごしています。これまでとは全く違う環境で、時には小学生のお兄さん・お姉さんたちと校庭で自然な交流ができています。運動会の練習に向けても、校庭で頑張っている小学生の姿を見て「よし、僕たち・私たちだって!」と意識を高めることができています。10月には地元の『横津獅子組』の方々が来園され、広い校庭で小学生と園児が一緒になって、獅子舞を見るなど、貴重な体験をすることができました。



## 小学校より

9月9日(日)に坂出市PTAソフトボール大会が開催されました。附属坂出小学校からは2チームがエントリーし、Aチームは1勝1敗、Bチームは2敗で決勝トーナメントへの進出はなりませんでしたが、多くの保護者の参加をいただきました。その後の反省会では中学校、幼稚園で参加された方を含め100名近くの方々にご参加をいただき、保護者同士の絆を深めるとともに、来年への雪辱を誓いました。





## 中学校より.....

11月1日 幼小中合同の安全保健委員会が中学校であり、3校間の連携が図られました。幼小中の保護者が話しをする機会がもっと欲しいとの声も活かされて、有意義な時間を過ごすことが出来ました。常任委員だけでなく、保護者参加型の研修が増えればよいと感じました。

11月11日 「まなとぴあコーラス」に幼小中の保護者が参加しました。生憎の雨天でしたが、コーラスの歌声が響くうちに、雨も上がりました。今までにない多数の保護者の参加で、幼小中の絆がここでも深まった様でした。

11月18日 中学校において文化祭が開催され、多数の人でにぎわいました。各クラスの歌声に我が子の成長を感じ、感慨深い一日となりました。

12月2日 オープンスクール時に、松韻カフェを9:00~13:00に開催しました。学園の運動会や修学旅行の様子もDVDで上映しました。



## 特別支援学校より.....

### 親和会の活動を少しだけご紹介

#### 「心肺蘇生と救急法」

夏本番を迎える前に、研修部が講習を開催。水の事故に備えて心臓マッサージやAEDの正しい使い方などを、坂出市消防本部の方から教えていただきました。

#### 「わくわくランチタイム」

午後からは文化部が茶話会を開きました。学部や学年の垣根を取り払い、フリートークで楽しい時間を過ごすことができました。(今年度は、研修部と文化部で相談し、同日開催の運びとなりました。)

#### 「スポーツ大会」

夏休みに入ると、毎年、運動部が主催して行います。

「キンボール」という大きなボールを使って、大勢で大人も楽しめる「キンボール鬼ごっこ」をしました。単純で簡単な遊びですが、逃げ回る鬼に当てるのが難しく、鬼になった人は必死で逃げなければならず、我を忘れてしまうほどです。また、暑い中での行事なので熱中症対策を兼ねて、牛乳パックを持ち寄り大量に作った氷で、かき氷を参加者にプレゼントしました。

#### 「府中湖水のフェスティバル」

毎年秋に、坂出市府中町で開催されています。行事部が参加し、買出し等の準備や当日早朝からの機材搬入やバザー販売を部員が当番で行いました。今年も完売で何よりでした。

どの行事も、保護者の皆様のご理解とご協力がなければ行えないものばかりです。本当にありがとうございました。

## 親和会



#### 「キンボール鬼ごっこ」

①手をつなぎ大きな円になる。②円の中に『鬼』が一人入る。③手をつないでいる人たちで『鬼』に向かってキンボールを足で蹴る。

○制限時間内に何回当てることが出来るかを競う遊び。

ルールは簡単！

①つないだ手を離してはいけない。②円の中の鬼はひたすら逃げる。





運動会



坂出学園の秋季大運動会が9月22日に行われました。プログラムの最後は、恒例の生徒の創作によるマスゲームです。今年は「花鳥風月」のテーマのもと、I場：花(1～3年生女子)、II場：鳥(1～3年生男子)、III場：風(3年生全員)、IV場：月(1～3年生全員)の4部構成でした。短期間ではありましたが、練習をしてきた成果を、十分に表現することができました。

文化祭

11月18日に、文化祭が行われました。午前中は総合学習CANおよびシャトル学習の発表会でした。優秀クラスターの発表では、各クラスターが趣向を凝らしたプレゼンテーションを展開し、1年間の研究の成果を伝えました。午後は「第2回あじさいフェスティバル」でした。文化部の日ごろの活動の表現、各学年の合唱、吹奏楽部の演奏などが発表されました。



中学校

全附P連附属学校合唱部ソングリレー『NHK復興支援ソング「花は咲く」で歌いつく東北復興支援の絆』に参加

7月20日(金)1学期の終業式終了後、全校生でNHK復興ソング「花は咲く」を合唱し、ビデオに収録しました。この事業は参加希望の附属学校が「花は咲く」の合唱を収録したビデオを事務局へ送り、事務局が参加校すべてのビデオを編集してオリジナルのプロモーションビデオを作成します。そして、作成したDVDを希望者が購入し、その収益が被災地の復興支援に役立てられるというものです。

464名の歌声は圧巻、体育館いっぱいに響き渡りました。東北の方へ「みんなでがんばろう」という思いを込めて、この歌の歌詞にとっぴりと浸りながら歌いました。プロモーションビデオが出来上がるのが楽しみです。



小学校

特別支援学校

節電！夏はゴーヤのカーテンで涼しく

本校高等部の農耕班では、農作物の栽培・収穫・販売を行っています。その一つがゴーヤづくりです。

4月中旬、ポットに種をまき、苗を花壇に植え替えます。生徒たちが毎日水やり等の世話をするので、7月下旬には本校の玄関横南側24メートルにわたってゴーヤのカーテンがで上がります。



ゴーヤのカーテンの手前には色とりどりの花も咲き、見た目にも美しいのはもちろんのこと、部屋が大変涼しくなり過ごしやすいです。その上、ゴーヤがたくさん収穫できるため、持ち帰り放題というお土産付きです。

大盛況！合同運動会での作品販売

家政班や窯業班の作品には、リピーターがたくさんいらっしゃいます。毎年、合同運動会でも販売しておりますが、「今年はどんな作品があるの」「毎年買って使っています」「4個セットで欲しいのですが」などのありがたい声を聞かせていただきました。

これらの作品は、合同運動会の他、本校ふれあい祭り、五色台かんぼの宿や府中産直市、水のフェスティバル、そして本校玄関にて随時販売致しておりますので、お近くにお越しの際には、ぜひお立ち寄りください。



幼稚園

附属坂出小学校にお引っ越し

9月から1月まで、耐震工事のため附属小学校の校庭をお借りして建てた仮設園舎で過ごしています。新しい環境ですが、子どもたちはここならではの生活を楽しくしています。そんな子どもたちの様子を写真で紹介します。

遊具に挑戦



「手にマメができるのはがんばった証だね！」



「一段ずつ。一段ずつ。」



「見てえ。こんな上まで！」

砂場大好き



「ここにも砂場があって嬉しいな」

小学生と一緒に



「広い運動場で思う存分！」



「こうして抱っこするよ」

編集後記

2学期は各校園で様々な行事がありました。教育実習、坂出学園運動会、附属坂出中学校文化祭、附属特別支援学校ふれあい祭り等…。忙しい中にも子どもたちの活躍する姿があり、個々の成長を感じ取ることができたように思います。

小学校では11月24日に創立100周年記念式典を行いました。偉大な先輩の話をたくさん保護者や卒業生、教職員OBの方々が、附属愛をもって式典に参加して下さったことは、子どもたちの愛校心をより強いものにしてくれたように思います。学校を誇りに思う心が、自らの可能性を信じる心となり、夢に向かってチャレンジする子へと成長させてくれるものと信じています。

12月も残すところ僅かとなりましたが、今年も保護者の皆様ならびに関係機関の皆様には、いろいろとご支援・ご協力をいただきました。本当に有難うございました。

発行年月日：2012年12月21日

発行事務局：香川大学教育学部附属坂出小学校内

佐藤 美芽 (附属幼稚園)

宮野 真也 樽本 導和 (附属坂出小学校)

寺岡 英郎 氏家 徹也 (附属坂出中学校)

伊藤 宏美 尾崎 仁美 (附属特別支援学校)